生成 AI 向け
機密情報マスキング・復元ツール

Ver1.0　操作マニュアル

Procurement Optimization Lab

1. 本ツールについて

本ツールは、生成 AI へ文章（プロンプト）を入力する前に、会社名・氏名・メールアドレス・電話番号・金額・日付・数量・コードなどの情報を Excel 内で検出し、置換コードへマスキングするためのツールです。生成 AI から得た回答を本ツールへ貼り付けることで、置換コードを元の情報へ復元できます。

検出・マスキング・復元処理は Excel 内で実行され、本ツールから外部の生成 AI サービスへ文章を自動送信することはありません。

> ポイント： 本ツールは機密情報・個人情報を完全に自動判定することを保証するものではありません。生成 AI へ送信する前に、変換リストとマスキング後のプロンプトを必ず利用者自身で確認してください。

2. 動作環境と起動

Microsoft Excel（Windows 版）での使用を想定しています。本ファイルは VBA マクロを使用します。

2.1 初回起動前の確認

Vector 等からダウンロードしたファイルは、Windows のセキュリティ機能によりマクロの実行がブロックされる場合があります。

ツールを初めて起動する前に、Excel ファイルを右クリックして［プロパティ］を開いてください。

［全般］タブ下部に「セキュリティ：このファイルは他のコンピューターから取得したものです…」と表示されている場合は、［許可する］にチェックを入れ、［適用］→［OK］を押してください。

※［許可する］が表示されていない場合、この操作は不要です。



図 1　ダウンロードしたファイルの［プロパティ］で［許可する］を確認

2.2 ツールを起動する

「生成 AI 向け 機密情報マスキング・復元ツール_Ver1.0.xlsm」を通常の Excel ファイルと同様に開いてください。Excel からマクロに関する案内が表示された場合は、内容を確認のうえマクロを有効にしてください。

ツールは専用の Excel 画面で起動し、起動後は「原文」シートが表示されます。通常使用している他の Excel ブックのリボンや数式バー等の表示設定は変更しない設計です。

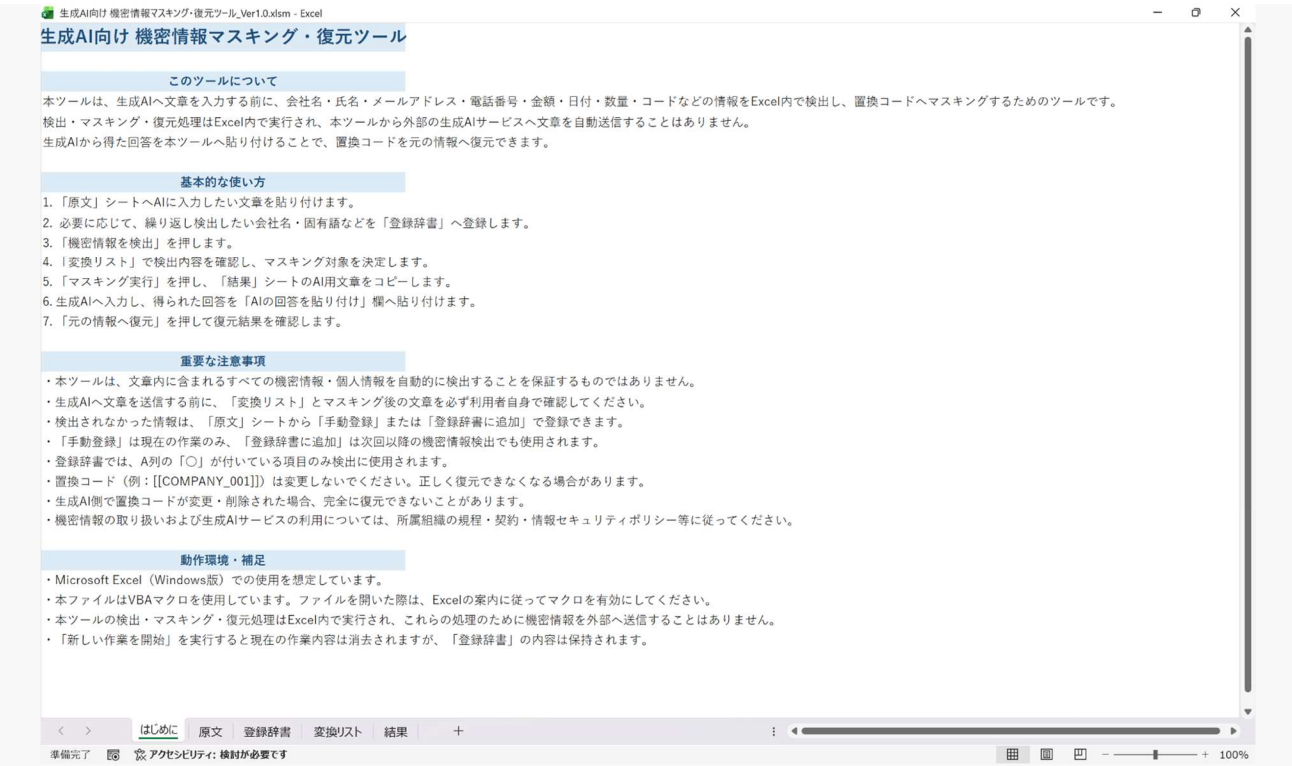


図２　「はじめに」シート：ツール概要、基本的な使い方、重要な注意事項

3. 無償版と有償版の違い

本マニュアルは無償版・有償版共通です。基本操作（検出・マスキング・AI 回答の復元）は両版で共通です。

【無償版の利用制限】原文：1 回につき 2,000 文字まで／手動登録：5 件まで／登録辞書：5 件まで。6 件目以降の登録や 2,000 文字を超える原文では警告が表示され、該当する操作を続行できません。

【有償版】上記 3 項目の無償版制限はありません。マスキング・復元の実行回数については、無償版にも回数制限を設けていません。

※文字数制限の判定対象は「原文」シートの入力文章です。長い文章は 2,000 文字以内に分けて処理するか、有償版をご利用ください。

4. 基本的な操作の流れ

1. 「原文」シートへ、生成 AI へ入力する文章（プロンプト）を貼り付けます。

2. 必要に応じて、繰り返し検出したい会社名・固有語などを「登録辞書」へ登録します。

3. ［機密情報を検出］を実行します。

4. 「変換リスト」で検出結果を確認し、マスキング対象を決定します。

5. ［マスキング実行］を実行し、「結果」シートの AI 用文章（マスキング済みプロンプト）を生成します。

6. AI 用文章（マスキング済みプロンプト）を生成 AI へコピーし、生成 AI から得られた回答を「AI の回答を貼り付け」欄へ貼り付けます。

7. ［元の情報へ復元］を実行し、復元結果を確認します。

5. 「原文」シート

生成 AI へ送る文章（プロンプト）を入力するシートです。文章は原文入力欄へ直接入力するか、他のアプリケーションや Excel からコピーして貼り付けます。 原文の入力欄は A5 セルです。Windows の通常のコピー・貼り付け操作（Ctrl＋C／Ctrl＋V）および右クリックメニューからの貼り付けを使用できます。

4.1 機密情報の検出

原文を入力したら［機密情報を検出］を押します。検出後は自動的に「変換リスト」シートへ移動します。メールアドレス、電話番号、URL、日付、金額等は自動検出され、会社名・氏名・コード・数量等は候補として表示される場合があります。

4.2 手動登録

自動検出されなかった情報は、原文シートから手動登録できます。手動登録した情報は現在の作業で使用されます。今後の作業でも繰り返し使用したい名称は「登録辞書に追加」を使用してください。 無償版の手動登録は 5 件までです。上限に達した場合は警告が表示されます。



図 3　「原文」シート：原文入力、手動登録・辞書登録、機密情報の検出

6. 「登録辞書」シート

登録辞書は、会社名、担当者名、社内固有語など、今後の作業でも繰り返し検出したい文字列を登録するための機能です。A 列が「〇」の項目だけが検出に使用されます。 無償版は登録辞書 5 件までです。6 件目を入力すると警告が表示され、その入力は取り消されます。

列	内容	説明
A	使用	〇の項目を検出に使用します。空欄は使用しません。
B	登録文字列	検出したい会社名・氏名・固有語等を入力します。
C	種別	COMPANY、PERSON、CODE、OTHER 等から選択します。

ポイント：「新しい作業を開始」を実行しても登録辞書の内容は保持されます。



図 4　「登録辞書」シート：常時マスキングする情報の登録

7.「変換リスト」シート

検出された情報を確認し、実際にマスキングするかを決定するシートです。自動的にマスキング対象となる項目は「〇」、利用者の確認が必要な候補は「△」で表示されます。

列	項目	例	意味	操作
A	変換	〇	マスキングする	そのまま、または候補を〇へ変更
A	変換	△	確認が必要な候補	採用または除外を決定
A	変換	空欄	マスキングしない	除外された状態
B	元文字列	株式会社〇〇	検出された元情報	原則確認用
C	種別	COMPANY	情報の分類	確認用
D	置換後	[[COMPANY_001]]	生成 AI へ送る置換コード	変更しない
E	登録方法	AUTO 等	検出元	確認用

［選択採用］［除外］［全採用］［全除外］を使って候補を整理し、内容を確認してから［マスキング実行］を押します。

ポイント： 置換コード（例：[[COMPANY_001]]）は変更しないでください。復元できなくなる場合があります。

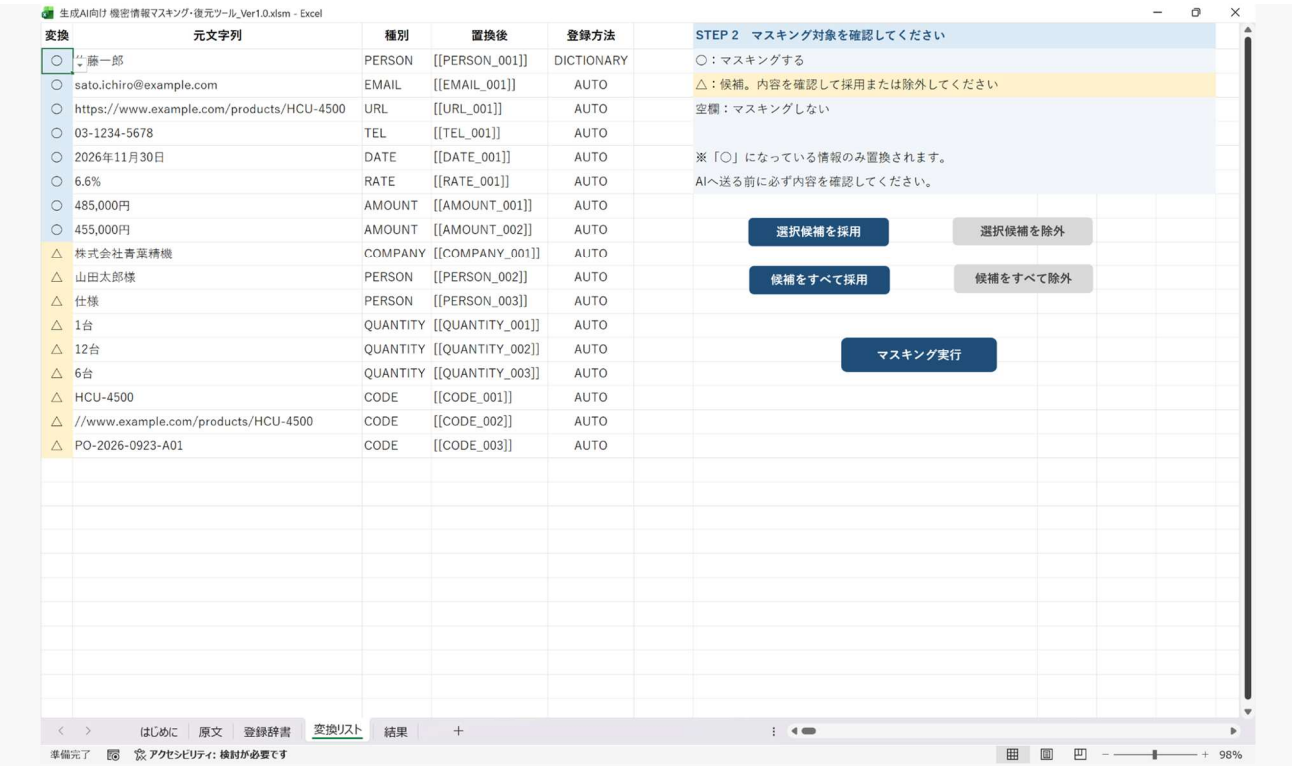


図 5　「変換リスト」シート：○・△の候補確認とマスキング対象の決定

8. 「結果」シートと生成 AI での利用

7.1 AI 用文章（マスキング済みプロンプト）をコピー

［マスキング実行］後、「結果」シートの AI 用文章（マスキング済みプロンプト）に置換済みの文章が表示されます。内容を確認し、［AI 用文章（マスキング済みプロンプト）をコピー］ボタンまたはツール内のコピー操作で文章をコピーして、利用する生成 AI サービスへ貼り付けます。

7.2 AI 回答を貼り付ける

生成 AI から得た回答全文をコピーし、「AI の回答を貼り付け」欄へ貼り付けます。生成 AI 側で置換コードが変更・削除されていないことを確認してください。「結果」シートの A8 セルに Ctrl＋V または右クリックメニューから貼り付けられます。

7.3 元の情報へ復元

［元の情報へ復元］を実行すると、置換コードが元の情報へ戻され、復元結果欄へ表示されます。未登録の置換コードが残っている場合は警告されることがあります。復元結果は必ず内容を確認してください。

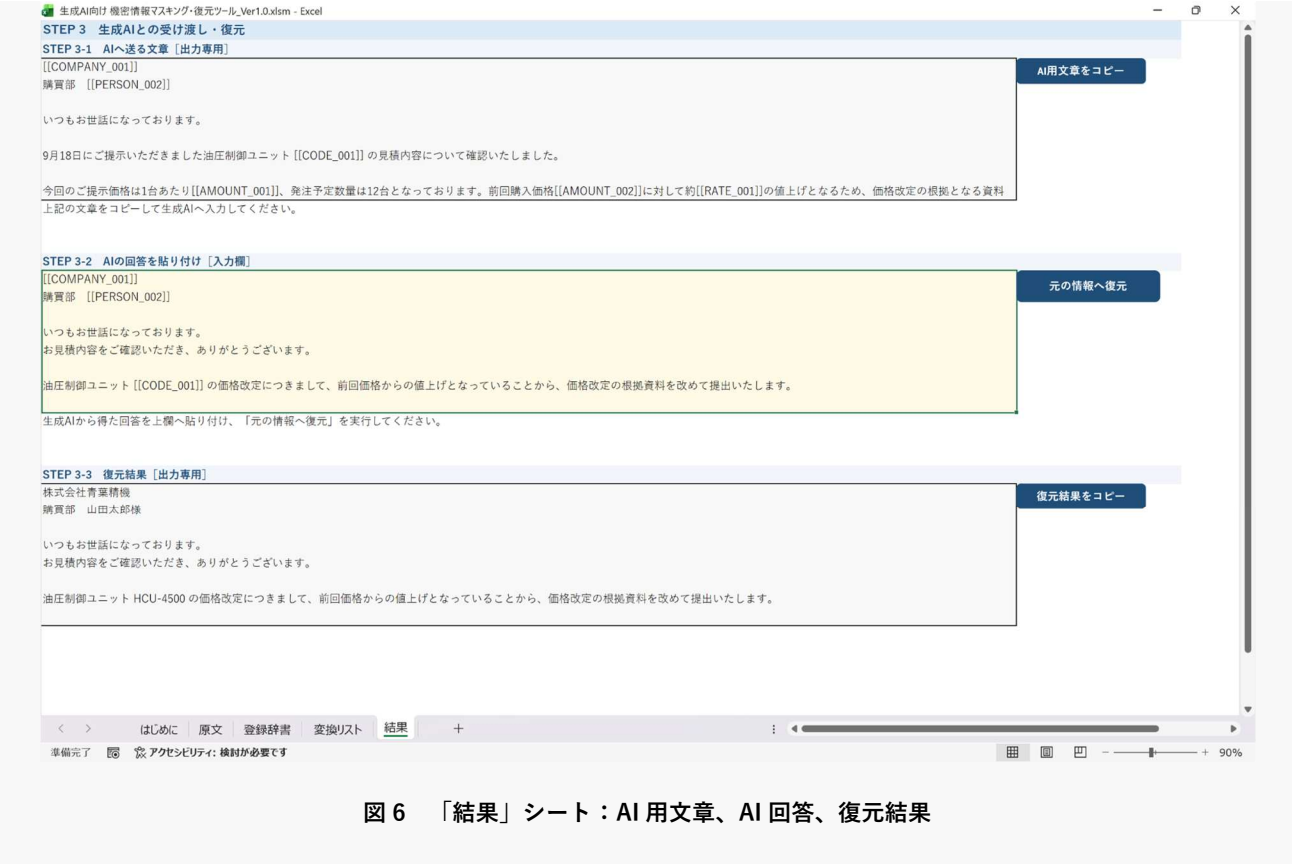


図 6　「結果」シート：AI 用文章、AI 回答、復元結果

9. 新しい作業を開始する

現在の作業を終了して別の文章を処理する場合は［新しい作業を開始］を実行します。現在の原文・変換リスト・結果は消去されますが、「登録辞書」の内容は保持されます。

ポイント： 必要な文章や復元結果は、［新しい作業を開始］を実行する前に別の場所へ保存してください。

10. 重要な注意事項

・本ツールは文章内のすべての機密情報・個人情報を自動的に検出することを保証するものではありません。

・生成 AI へ文章を送信する前に、「変換リスト」とマスキング後のプロンプトを必ず利用者自身で確認してください。

・検出されなかった情報は「手動登録」または「登録辞書に追加」で登録してください。

・置換コード（例：[[COMPANY_001]]）は変更しないでください。

・生成 AI 側で置換コードが変更・削除された場合、完全に復元できないことがあります。

・機密情報の取り扱いおよび生成 AI サービスの利用については、所属組織の規程・契約・情報セキュリティポリシー等に従ってください。

無償版で上限の警告が表示されたとき

原文が 2,000 文字を超える場合：原文を分割して処理してください。手動登録が 5 件を超える場合：現在の作業で不要な手動登録を整理してください。登録辞書が 5 件を超える場合：不要な登録項目を削除してから再入力してください。

上限に達した場合でも、登録済みの情報を使った通常のマスキング・復元は利用できます。

11. 困ったときの確認

症状	確認事項
ボタンを押しても動作しない	マクロが有効になっているか確認してください。
必要な情報が検出されない	手動登録または登録辞書への追加を使用してください。
候補が多すぎる	「変換リスト」で必要な候補だけを〇にし、不要な候補は除外してください。
復元できない置換コードがある	生成 AI 側で [[...]] の文字列が変更・削除されていないか確認してください。
別の作業を始めたい	［新しい作業を開始］を実行してください。登録辞書は保持されます。

Ver1.0　2026 年 10 月

12. 連絡先

お問い合わせ： tv2b4j@bma.biglobe.ne.jp

業務に合わせた最適化・自動化・カスタマイズのご相談も承っております。

13. 補足

Procurement Optimization Lab（POL）は、調達・購買の実務経験と Excel/VBA・SQL 等を組み合わせ、現場業務の効率化・自動化を支援しています。

本ツールは、生成 AI へ入力するプロンプトに含まれる機密情報のマスキングと、AI 回答からの復元を、Excel 上で安全かつ扱いやすく行うために汎用化したものです。

Copyright © 2026 Procurement Optimization Lab® All rights reserved.